

『2 月の主な動き』

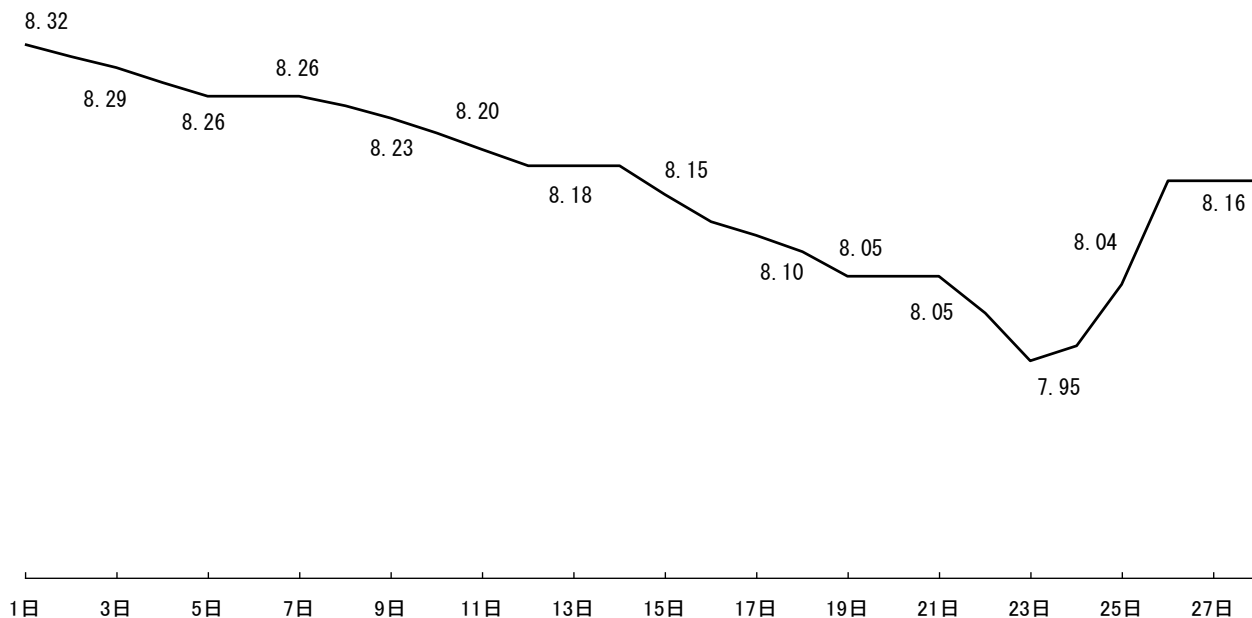
- 2 月、昨年から継続していたケツアル安ドル高の傾向から一転、著しいケツアル高ドル安傾向となった。
- 10 日、金融審議会(JM)は政策金利の据え置き(4.5%)を発表した。
- 10 日、当国エスクイントラ県の養豚場における豚コレラの発生に関連し、ホンジュラスが当国の豚肉商品の輸入を禁止した。
- 21 日、グアテマラ・チリ自由貿易協定(2007 年署名)の批准書の交換が行われた。
- 22 日、ボゴタ電力公社(EEB)は当国送電線拡張計画(PET)を受注した。
- 22 日から 26 日まで第 7 回中米 EU 連携協定公式交渉がブリュッセルにて行われた。
- 26 日から 28 日まで第 3 回世界コーヒー会議がグアテマラ市で開催された。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート（中銀）

2 月、昨年から継続していたケツアル安ドル高の傾向からケツアル高ドル安傾向となり、23 日には 1 ドル=7.95 ケツアルを記録した。著しいケツアル・ドル為替レートの変化により、中銀は 2 月に 18 回に及ぶ為替市場介入を行った。2 月 28 日時点の為替レートは同月初頭に比べ 0.16 ケツアル高ドル安の 1 ドル=8.16 ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2010 年 2 月

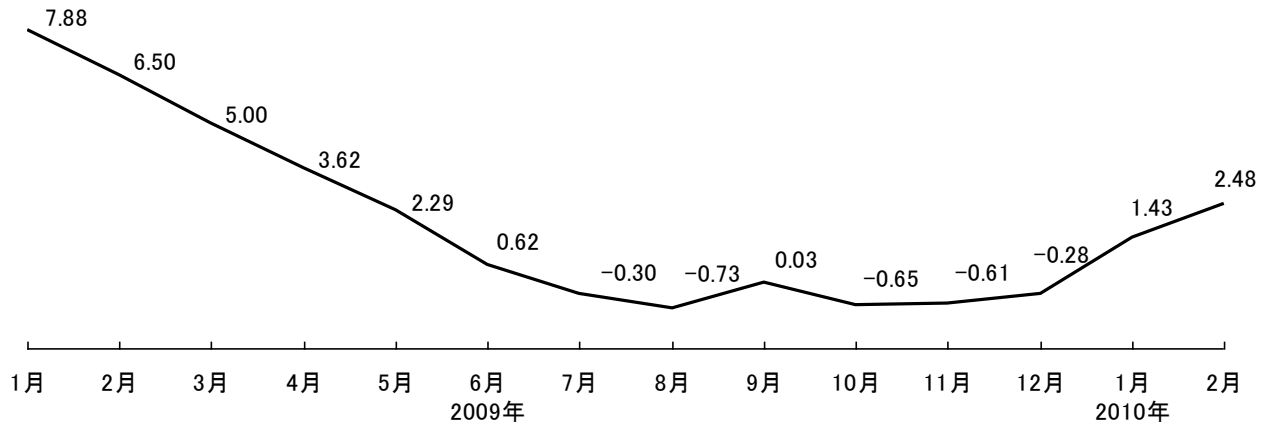


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数（国立統計院 INE）

2月、消費者物価指数は、前月比で0.43%の上昇となった。また、前年同月比でも2.48%の上昇となり、年率における上昇は先月以来2ヶ月連続となった。

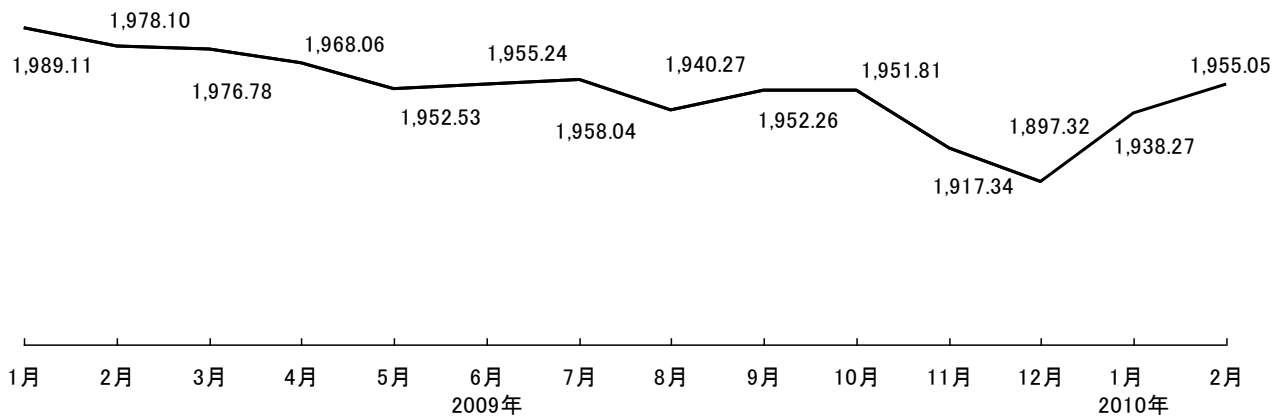
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2009-2010年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1世帯5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料26品目）の価格は前月比でQ16.78(約2.08米ドル)上昇し、Q1,955.05/月(約242.52米ドル)となった。また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比Q30.01(約3.72米ドル)増の3,567.60/月(約442.56米ドル)となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2009-2010年



(出典：国立統計院)

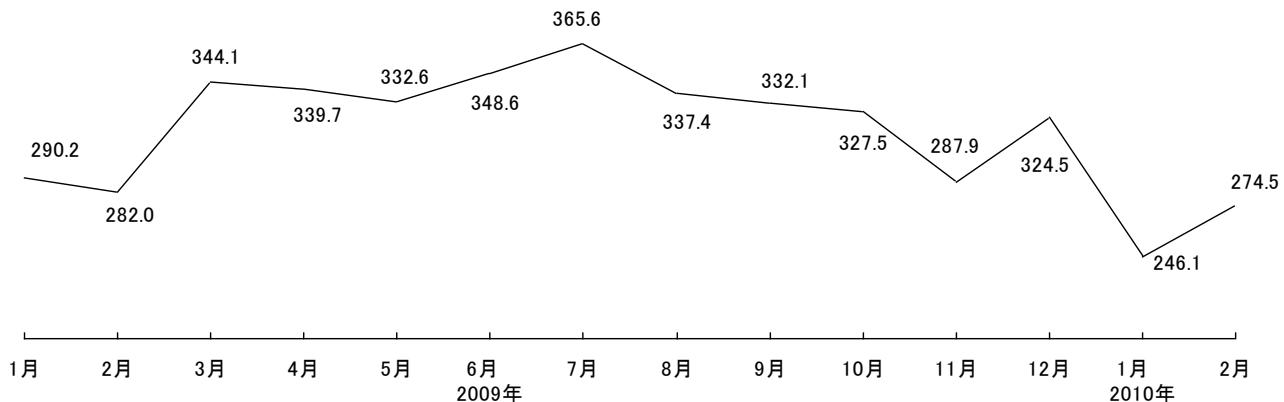
(3) 貿易統計(中銀)

2010年1月の輸出総額は808.2百万米ドルで、前年同月(588.8百万米ドル)比37.3%増となった。また、輸入総額も前年同月(841.2百万米ドル)比11.1%増となる934.3百万米ドルであった。なお、同月の対日輸出総額は前年同月(11.29百万米ドル)比29.3%増となる14.61百万米ドル、また、同輸入総額も前年同月(9.58百万米ドル)比183.81%増となる27.19百万米ドルであった。

(4) 外国からの送金(中銀)

2月、外国からの送金額は前月に比べ増加したものの、前年同月比2.63%減となる274.5百万米ドルであった。

海外送金額：2008-2009年
(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

(5) 税収(国税庁(SAT))

15日、国税庁(SAT)は、2010年1月の当国徴税額が13ヶ月振りに前年同月比増(6.4%)となる3,446.7百万ケツアルであったと発表した。徴税額増加の主要因は、関税額の増加によるものであった。また、飲料(前年同月比8.3%増)及びセメント(前年同月比47.3%増)からの徴税額も増加した。一方、タバコ(前年同月比18.1%減)及び原油(前年同月比9.9%減)からの徴税額は減少した。

2. 国内経済トピックス

(1) 石炭発電所建設プロジェクト

2月、当国における石炭発電所建設プロジェクト("Jaguar Energy")が、中米経済統合銀行(BCIE)等から総額350百万米ドルの資金手当を得た。同プロジェクトのサルミエント・ジェネラルマネージャーは、中米経済統合銀行(BCIE)からの資金提供額については明らかにしなかったものの、同プロジェクトに合計350百万ドルに上る資金を確保したと発表した。同石炭発電所の建設総費用はおよそ700百

万米ドルと見積もられており、これまで資金不足により建設開始が遅れていた。サルミエント・ジェネラルマネージャーは、同発電所用資機材は中国で生産され、本年下半期に発電所の建設が開始される予定であると述べた。同発電所は、2013年よりユニオン・フェノサ社を通じ電力供給を開始する予定である。

（２）豚コレラの発生

当国エスクイントラ県の養豚場で豚コレラが発生し、2月10日にホンジュラスが当国の豚肉商品の輸入を禁止した。1月25日、エスクイントラ県の養豚場において、豚コレラの発生が疑われ、28日、最初の感染が確認された。感染の疑いのある豚は248頭に上り、その内18頭が死亡し、残りの230頭が処分された。

（３）ボゴタ電力公社(EEB)による当国送電線拡張計画の受注

22日、メアニー・エネルギー鉱山大臣、デ・グリエフ・ボゴタ電力公社(EEB)総裁及びモレノ・ボゴタ市長は、当国送電線拡張計画(PET)の受注に関する契約書に署名した。同公社による投資総額は約400百万米ドルで、これにより当国の送電網は現在の総延長3,522kmから更に853km拡張される。メアニー・エネルギー鉱山大臣は、今後、当国における停電の頻度の減少が期待されると述べた。エネルギー鉱山省は、同送電線建設計画により、当国の年間電力損失額は現在の水準(国内電力需要量の12%に上る年間270百万米ドル～300百万米ドル)から109百万米ドル減少する見込みであると発表した。ロドリゲス・エネルギー鉱山省副大臣は、国内電力需要の増加及びインフラ整備の遅れにより、送電中の電力損失が生じている旨述べた。デ・グリエフEEB総裁は、同公社が今後30年間に亘り当国における送電網の建設及び操業に携わる予定である旨述べた。また同総裁は、今後90日以内に同計画に関する環境アセスメントの結果を提出する予定で、本年8月には送電網の建設を開始し、2013年に送電網の操業を開始するであろうと述べた。

３．対外経済トピックス

（１）グアテマラ・チリ自由貿易協定の批准

バチェレ・チリ大統領は、20日から21日まで当国(北部ペテン県)を訪問し、コロン大統領との会談(20日)及びグアテマラ・チリ自由貿易協定(注：2007年署名)の批准書の交換(21日)等を行った。バチェレ大統領は、同自由貿易協定の発効に伴い当国におけるチリ産製品の価格が10%下落するであろうと述べた。なお、2009年の当国の対チリ輸入総額は、133百万米ドルであり、同年の対チリ輸出総額は95百万米ドルであった。

（２）第7回中米EU連携協定公式交渉

第7回中米EU連携協定公式交渉は2月22日から26日までブリュッセルにおいて開催された。次回公式交渉は3月22日から26日の間に同じくブリュッセルにおいて開催される予定である。グアテマラの交渉代表を務めた当国経済省対外貿易局のモリーナ担当官及びラインフィエスタ調整官は「同協定締結に向けて進展が見られた反面、EUの提案は中米地域の期待からは依然程遠いものである。中米地域として譲歩できる部分はあるものの、プラスチック、衣類、繊維の衣料品加工、砂糖、コーヒー及びバナナの厳格な原産地規制等に関しては譲歩できず、今後も協議を継続する必要がある」等述べた。今次

交渉において各国政府による貿易、競争及び調達の分野については協議が整った。また、エビ及びラム酒の扱いについても協議が整った。エビのEUへの輸入関税は連携協定締結後3.6%となり、今後3年間で関税撤廃となる見込みである。ラム酒も同協定締結後3年以内に関税撤廃が予定されている。また、EUは工業部門の96%の品目に関する輸入関税の即時撤廃を提案した。残りの品目に関しては、同協定締結後3年から7年間に関税撤廃を計画している。中米各国政府は同協定締結後3年以内に独占禁止法及び監視制度を整備する必要がある。なお、中米地域で右分野の法律が整備されていないのはグアテマラのみである。

（３）世界コーヒー会議の開催

第3回世界コーヒー会議は、当国グアテマラ市において2月26日から28日まで開催された。同会議には約400人の当国関係者及びロボ・ホンジュラス大統領及びフネス・エルサルバドル大統領を含む約800人の国外関係者が出席した。なお、日本からは、全日本コーヒー協会関係者他コーヒー業界関係者等が同会議に出席した。

（４）グアテマラ・台湾商業会議所

グアテマラ・台湾商業会議所は、2009年9月に40社が参加し設立され暫定的に活動しており、現在法人格取得の認可申請中である。Sun当地台湾大使は、「グアテマラ・台湾商業会議所には、今後さらに約100社が加盟する予定である」、「同商業会議所はグアテマラ・台湾二国間の経済協力、商業及び投資のための架け橋となるであろう。グアテマラ側では、労働者の技術向上や技術移転による競争力強化が目指される。」等述べた。同会議所のアルチャ暫定会長は、法人格取得後の同会議所では、これまで良好な商業及び外交関係を維持してきたグアテマラ・台湾両国関係の更なる強化が目指されると述べた。2009年の当国から台湾への輸出総額は、27.1百万米ドル、また、台湾から当国への輸入総額は98.0百万米ドルであった。

（了）